

総志会 宗像靖彦クリニック院長

宗像靖彦先生インタビュー

先生が専門としている科目を教えてください。
● 専門領域は広く内科ですが、中でもリウマチ・膠原病科が専門です。免疫の異常から発生するような病態を広く診させてもらっています。

先生がリウマチ・膠原病科を専門にした理由は何か？
● 当初は、僕は呼吸器科に興味があつたんです。卒業してからの2年間の初期研修で回ったリウマチ・膠原病科でとにかく難しい病気が多いというのを感じ、難しいならやってみようかなと思えました。2年目の研修で、肺の病氣と膠原病の両方診れるところで膠原病を診ている先生のもとで勉強させてもらいました。入り口は肺だったんですけど、臨床やついでで一番難解な病氣で、患者さんに対して、光を照らしてあげないといけないと思えました。臓器が限られないので、身体全体を診なければならぬところも難しいし、なかなか「筋縄ではいかない領域だ」と思っています。難しいことってチャレンジしたくなるんです。

総志会の名前の意味を教えてください。
● 理念を共有する人たちが全ての志をまとめ上げて、総合力で仕事していきましょうというのが総志会の由来です。だから、決してこの法人だけで全て完結するのではなくて、もつと膨らみをもたせるような意味があります。

クリニクの特徴を教えてください。
● 現時点での特徴は、診療所と老人ホームが一体になっているところだと思います。これは日本でも例がないと思います。老人ホームだけだと医療が手近にならないです。ここには1階にクリニックが併設してあるので医療へのアクセスがいい。急変にも対応できて、お看取りもできる。

現状の医療保険制度では、急性期だけを診るような状態になっています。急性期が終わって、自宅に退院する
● 地域医療についての言は「格差の是正」だと思つてます。100点満点ではなくても、フラットに80点〜90点の医療を提供するのが地域医療だと思つてます。この地区だけ、100点満点の医療をしようというのは地域医療ではないです。地域医療を発展させるには、まず医療の格差を是正すること。そうすれば、その地域全体がもっと高いレベルの医療を求めるようになって、全体のレベルが上がってくる。それが地域医療の発展につながると思つています。地域医療は地域格差の是正。そして、自分の手の及ぶ範囲の医療の均一化。それは低いレベルに合わせるのではなくて、高いレベルに合わせるということが重要だと思つています。

地域医療についてどのようにお考えですか？
● 地域医療についてどのようにお考えですか？
● 地域医療についてどのようにお考えですか？



と家族の介護負担が大きくなつてしまふ。ここだったら、看護師さんもあるし、介護のスタッフもいるし、治療が必要なときは僕が訪問診療で診れるので、全部が効率よくまとまっているのがこのクリニックの特徴ですね。今の時代が要求する最小限のパッケージじゃないかと思つています。これ以外の方策はないんじゃないかな。

プライベート健康管理サービスについて教えてください。
● このサービスは、「病氣とどう付き合うか」という患者さんの心構えのところなんです。

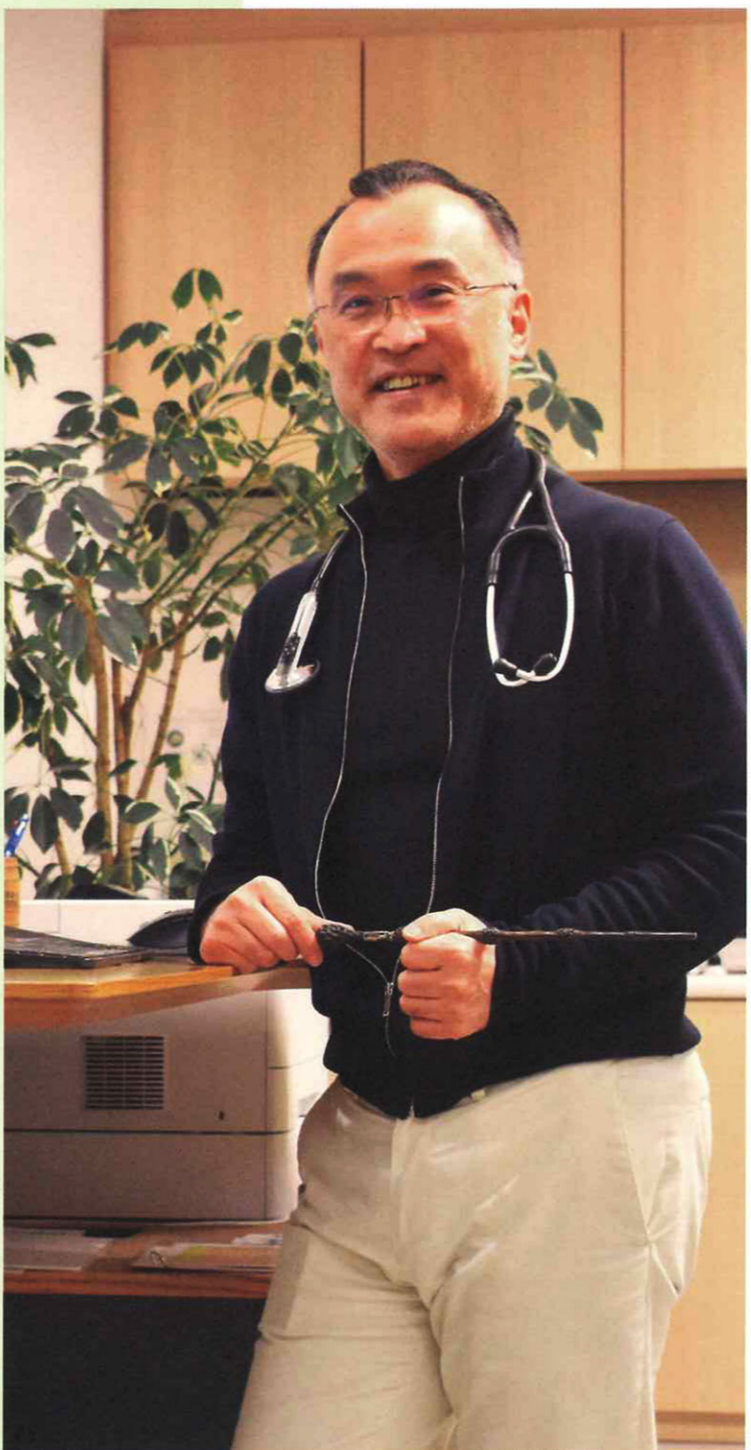
情報に溢れています。それを統合して理解している人はほぼ0です。患者さんの周りに溢れている情報をその患者さんにとつての本当の真実に仕立て上げるのがこのサービスです。これまで希望する人はかなり意識が高い人ですね。詳しく知りたい方には、面談料をいただいて、責任のある助言をするようにしています。

僕の普段の診療は患者さんの教育と思つてやつていて、患者さん自身が、もつと健康になつていくための知識を必要とするか。どのくらい必要とする人が増えるかのバロメータになっています。

リハビリについてはどのようにお考えですか？
● 絶対必要でしょうね。フレイルとかサルコペニアという考え方がだんだん浸透してきていて、その情報がちゃんと理解されてくれば、リハビリに対する要求度は高まつてくると思つています。

健康寿命と平均寿命を一致させて120歳までもつていける力を持つていけるのがリハビリだと思つています。

僕の求めるリハビリはそこなんです。我々なんかよりもっと医学や人間工学、栄養学にも精通していかないといけないと思つています。グループ意識を捨てて、自分の求めるリハビリ職の姿を追求していく人が増えることを期待しています！



高齢者の方へのアドバイスをお願いします。
● よく患者さんと話して、「もう歳だから・・・」と言われるんですけど、そうは言ってもらいたくないですね。「健康寿命120歳プロジェクト」をやつてるんですけど、90歳とか100歳まで生きたら長生きするというのは誰が決めたのかな？と思つてます。そういう世間の根拠のない風評を受け入れてもらいたくないですね。120歳まで生きるためには何をしたらいいのかを考えてもらいたいです。若い人でも今の健康管理は財産になるので、それを歳とつたからといって放棄してほしくないですね。

今後クリニックをどのようにしていきたいですか？
● 先ほどの地域医療の話になつてきますが、ここ1箇所だけでは情報の発達基地としては足りないんで、拠点は増やしていきたいと思つています。これも自分だけでやり切ろうとは思つてはいなくて、山形や岩手などの自治体の垣根を超えて広めていきたいと思つています。

医療、介護に関わる方々へメッセージをお願いします。
● 自分のやりたい仕事、自分のやりたい極みを目指してほしいと思つています。グループに所属することによって、自分の可能性を自分からつぶしてしまつていってしまうので、思う存分自分のフィールドで働いてもらいたいと思つています。やらなくてはならないこと、やりたいことをやるように努力してもらいたいと思つています。

地域にお住まいの方々にメッセージがあればお願いします。
● みんなが良くなれば、全体が良くなる。そのためには、自分の幸せを追求しなければならぬ。自分が幸せになるためには隣の人も幸せにならなければならないという価値観でいきましょうとお伝えしたいです。自分ばかりがいい思いをしても決して良くはならない。隣の人も同時にハッピーになることを考えなければならぬ。あなたが長生きしないなら誰が長生きするんですか？自分が良い物を求めるなら他人がそれについてくれるような雰囲気を作つていきたいと思います。

